제886호 1912. 2. 14.

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十六錢▲新聞欄特別廣告五號活字七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久一馬
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜錄

朝鮮の有毒蛙

此は雜誌理學界一月號に載せられたる理學博士飯塚先生のお話であるが當地に有る我人ともに心得て置いて良い事と思ふので轉載した

其の形を見ると、一寸日本の蛙に似て居る体の長さが頭の先から尻の處まで一寸二分から一寸七八分位のものであつて、前足の長さが六分から八分位まであり、後足の長さが一寸五分から二寸許りに達して居る、体の樣子は一体に日本の蛙に較べると平たい方で、而して背中は少し黑ずんで綠色であつてそこへ黑い斑點がついて居るが、それは餘り判然しては居らぬ、而して又背中には、一体に疣のやうなものがぼつ〳〵突起して居る、それから、腹の方を見ると、これは極く濃い綠色で、それに眞赤な斑紋がついて居つて、一寸宮守の腹を見るやうな工合である、初め此の蛙の出て來たのを見て、之を捕へようと思つて手を觸れると、蛙は忽ち立止つて、前足を後の方へ引き後足も後の方へ踏張るやうにして、腹をウンと前に突出し、今云つた綠色の處へ判然した眞赤な斑紋のついた所を人の方へ向けて、ヂッと動かずに居る。そこで、此れは面白いと思つて暫く見て居るとそろ〳〵起回つて逼出すやうにするから、又之を突いて見ると、元のやうに腹を張つて、手や足を後の方へ引いて、腹の斑紋を見せるやうな風附きをする、其の樣子が如何にも面白かつたから、何遍も之を繰返して突いて見た、餘り突いた爲に、蛙は疲勞たやうになり、終には逃出しに掛るやうになつた、此の腹を突出すといふことは、何ういふ譯かと言つて見ると、此の蛙は一体身体に一種の毒を有つて居つて、何うかすると皮膚から白いどろ〳〵の液を出すのがそれである、他の動物もそれが爲此の蛙を取つて食はうとはしない、それで、歐羅巴の學者が或時歐羅巴産の種類に就いて實驗した報告に據つて見ると、鰻とか蛇とかそれから鱈魚とかいふやうなものと此の蛙とを一緒に置いて見た處が、何時までたつても此の蛙は外の動物に食はれなかつた併し他の無害の蛙やキモリや何かのやうな動物を取つて、此中へ入れて見ると、直ぐ外の動物の爲めに此の新來の客は食はれて仕舞ふ、それから又或時には、龜が水の中に泳いで居る時に此のボンビナを見付けて通常の蛙と思つたか、其の傍へ泳ぎ寄つて、一寸臭氣を嗅ぐやうにしたけれども、寄ると直ぐ離れて他の方へ行つて仕舞つた、斯ういふやうに、龜や蛇や鰐魚といふやうな大概何でも食ふ動物でも此のボンビナを食はない所を見ると、隨分猛烈な毒を此のものが有つて居るものと思ふ。

俳句

◎仁川俳壇卯月會席上即吟
題、春の雪、小豆粥、猫の戀、
出席句者相互選

◎三點の部
又候餅新らしう喰も小豆粥　松園
猫の戀猫の角力か少女見る　色葉
婢僕出代すべく猫戀に倦姦し　竹香

◎四點の部
小豆粥又元日のこゝろなり　一骨
禪僧端然として春雪杯眼下しつ　松翠
小豆粥月圓らかに松のそと　梅園

◎五點の部
屋上の月朧朧と猫の戀　俳北
小豆粥梅の蕾など散り込みて　花亭
春の雪山は笑ふて居乍らに　春坪

◎七點の部
家例とて神へ供へつ小豆粥　一俳
きやつと云ふ聲が別れか猫の戀　瓢水

◎八點の部
其の野鼠も捕らず猫の戀　俳骨

◎十一點の部
神の火を移す竈や小豆粥　是空

◎十四點の部
戀の猫礫の音に別れける　凌霜

◎十六點の部
春の雪晴れ着の袖に消る哉　梅華

◎十七點の部
地に落る迄の風情よ春の雪　一俳

◎十八點の部
竹撓む袖には降らず春の雪　月宗

外事一束

▲伊軍● ベンガージに於て土耳其軍の爲大敗し非常なる大損害を蒙るに至る
▲露國● の爲め東清鐵道事務長內蒙古喀爾喀地方獲得の意圖しとのことなり
▲英國● 陸相ホルデン卿の訪獨は政治上及保守黨首領英帝謁見事件に關すと
▲帝國● 議會に於る獨帝の演說は大体に於て獨逸新聞及他諸國の歡迎を受く
▲葡國● と和蘭がチモールの國境問題は同地方及外交上漸く困難を感ずと云ふ
▲墺國● 皇太子殿下大公の訪問に答へ近く墺帝を代表して露皇室を訪ふべし
▲土都● 來電は勃牙利シンチニッカの火藥庫爆發し多くの死傷を出すと報ず
▲墨國● 大統領マデロ氏新任就職の親書を關係諸外國に致し各國之れに答ふ
▲英露● 公使波斯政府に對し廢帝に年金を與へ其の同類を大赦せよと警告す
▲愛蘭● 自治案に關し英國內閣三時間半に亘る長時の內閣會議を開きたりと

新刊紹介

▲大國民(二月號) 本號重なる記事は二大政黨の宣言書(社說)社會黨は斯の如くして發生す(社說)速に革軍政府を承認すべし(村松恒一郎)四十五年度豫算評論(加藤政之助)米國は日本を歡迎す(島田三郎)誰が一劍の日に仗る(福本日南)朝鮮儒統傳(幣原文學博士)老人犯罪の研究(花井法學博士)陥落せる政黨(瀧原惟郎)明治四十五年の問題(高橋秀臣)刻下の朝鮮問題(大內暢三)青年黨與らざる歟(高橋燧洋)等何れも議論正大眞摯雲山の德富蘇峯論は痛快を覺わしむ(東京芝區今入町二十三番地大國民社一部十錢)

▲實業之世界(九卷三號) 三宅雪嶺博士の『創業守成』は天數訓として服膺すべく島田三郎氏の『親しく視察したる日米問題の眞相』は堂々十頁に亘り經世家の必ず一讀を要すべきものなり『三井家の大秘密』は愈々佳境に入る(東京市芝區愛宕町實業之世界社一部十一錢)

▲少女畫報(第一年第二號) 流石に畫報の名に背かず口繪には目覺むるばかり美しき『梅ヶ香』井川洗厓氏筆『雪うさぎ』渡邊與平氏筆を揭げ寫眞版は何れも少女に緣めるもの數十頁に亘り記事は鮮麗にして取材宜しきを得たり藝術の助けもありて修身の資たり又趣味躑くが如きものを以て充たさる(一冊十五錢東京市麴町區飯田町四丁目東京社)

▲賣笑婦研究● 此は市場鴨村と云ふ人が著はした本の名である、讀んで字の如き書だ、遊廓の別つ十六、其賣笑婦墮落の徑路、遊廓の改良、私娼撲滅論等一讀の價値あり(定價六十五錢東京神田仲猿樂町嵩松堂書店發行)

梁川庄八

小金井蘆洲演

第百一回

翌朝庄八ヒョイと目を醒して見ると何日も先へ起きて周囲を片付け、枕元に坐つて居る甚之丞が其朝に限つて居ない、小便にでも行つたのかと思つて待て居るが、歸てこない何をして居るかと思つて、ポン〳〵と手を拍つと女中が參つて 女『お召しでございますか』庄『ウム供の者が見ねんやうだが、何處へか行つたかな』女『ヘエ今朝程早く御出立になりました』庄『ナニ立つたど』女『左樣で能くお寢み遊ばして居らしやりますから御目が覺めたら申上てくれろ、旦那の御用で一足先きに大阪へ立つから跡をよくお氣を付てくれろと、斯うお仰いましてございます 庄『別に何も用事を云付た覺はないが ハテ妙な事がある者だ』と起上つて床の間を見ると荷物がない 庄『荷物がない彼の者が持つて參つたかな』女『左樣でございます、お荷物はお持ちになりました』庄『ハテナ』と氣が付て調べて見ると、何一品もない、悉皆持つて行かれて丁つた、ハタと膝を打つて 庄『ホイやられた……謀り居つたな、イヤ どうも道ちを以て謀れば君子も欺かれると云ふが、旨くやり居つたわい』女『何でございます旦那樣』庄『那奴に色の黑いと思つたら黑胡麻だな、胡麻〳〵……コレ女中主人を呼んでくれ』女『畏まりました』と容子が變だから、女中も慌てゝ降りて來て、主個に是々と告げる、急いで昇つて來た主人嘉右衛門敷居越に兩手を支へて 主『ヘイ旦那樣お早うございます、只今はお召しでございまして』庄『アー主人誠に氣の毒だけれど、お前に手數を掛けなければならん事が出來た』主『ヘエ何でございますか』庄『今朝ほど早く供の者が出立をしたと云ふが、那れは胡麻の蠅だ』主『ヘヱ胡麻の蠅……』庄『金子其外諸種の品をしてやられた、早速當所役方へ屆出て貰いたい』主『夫は大變でお品觸れを伺ひまして早速お屆をいたしますが一体那れはお供ではございませんので……』庄『イヤ供には違ひないが、今考へれば迂濶千萬實は是々斯々云で譯で……』と前の次第を物語りました主『ヘヱ左樣でございますか、酷い奴でございますが、桑名と宮の七里の渡しと〱ると胡麻の蠅が渦を卷いて居ります處で、一寸でも油斷を致しますと、直ぐに取付きます』庄『衣類金子は惜しむに足らんがの、金で替ん兩親の位牌、家の系圖、又尊いた方から頂いたお書物等が這入て居る、是は胡麻の蠅が持つても役に立ん者だから、路傍へなど打捨られでもすると、先祖に對して誠に相濟まん、何うか是丈は詮議をして取返して貰いたい者だ、當地紀州家御領分だな』主『左樣でございます、和歌山表から御代官として三浦三右衛門樣御出役になつて居ります』庄『ア、左樣か早速屆けてくれ』主『御姓名を伺ひます』庄『オ、未だ姓名も申さんであつたな、拙者は奧州仙臺浪人梁川庄八正國と申す者だ』と承ると亭主は驚いて跡へ下り、最と丁寧に叩頭をして 主『夫はどうも存じませんで飛んだ失禮を申上ましてございます、斯樣なお粗末な御座敷へお泊め申上まして相濟ません、梁川樣でいらしやいましたか、早速御座敷を御取替へ申しますから何うぞ彼方へ……コレ〳〵誰かこないか……何故旦那樣を斯んな御座敷へ御案內申上たのだ、彼方の上段の間へ御案內申上なさい、何うぞ彼方へ』庄『コレ〳〵梁川と聞いて何でそんなに叮嚀にするのだ』主『ヘイ〳〵實は御代官樣から兼てお觸れになつて居りまして、若し貴所樣が當地にお出になつて、宿にお泊りになるやうな事があつたら、出來る丈け叮嚀に御取持を致さなければならんと云ふお達しが參いつて居ります、何うぞヤア彼方の御座敷へお出を願ます』と最と叮重に優待を仕初ました、是は何う云譯だと云ふと、梁川正國が永らく名古屋の城下に滯在して、老臣瀧川上野介の所に足を止めて居つた、德川老將軍家康公からお聲掛りのあつた梁川だから、尾州を出立をした時に瀧川上野介から同じ御三家の御緣合だから紀州家の重役に對して梁川正國當地を出立致したに付て、何れ御地御領分を通行致すに相違ない、若しも其地へ足を入れたら、丁寧にお扱ひなさらんと飛んだ所で手打返しを食ふか知れませんから其思召でと通知したのだ、そこで紀州家國家老から松坂の代官三浦三右衛門方へ沙汰を致した、三浦から松坂中の宿屋へ觸を出してあつたのです處が其梁川庄八が泊つたばかりではない、胡麻の蠅の爲に盜難に遭つたと云ふのですから、猶いて一層丁寧にしたのです。

北京特電

▲清帝退位發表せらる

清國皇帝は國運の趨ふ所を諒とし親ら皇帝の位を退き一切の政權を袁世凱に委任する旨の上諭を下し十二日之を發表せり

▲太后涙を垂れ退位を諭す

皇太后は幼帝を抱きつゝ各臣僚を引見し泣きながら皇帝退位の止むなきを諭したり

▲新政府組織の命下る

皇太后は退位と共に新政府組織の命を袁世凱に下せり

▲待遇條件も成立す

南北兩政府の間に折衝を重ねたりし滿朝親貴の待遇其他の條件は玆に妥協し別報の如く退位の發表を見るに至りしなり

▲退位上諭の内容

別電清帝退位に關する上諭の内容は(一)皇帝は共和政体を承認し玆に政治より退き大清皇帝の尊稱を保留す(二)皇帝、皇族、各班の優待條件を承認す(三)各省督撫宛にて今回皇帝共和を承認せるは民意に從ひ國利民福を圖る爲なれば人民は誤解なきやう地方の秩序維持に努むべし

▲北京の形勢不穩

退位の上諭と共に北京の上下は今更の如く驚愕し騷擾其極に達し軍隊爆發の懼あり各貴人大官の邸宅は兵士を以て護衛せられしも護衛の兵中憤激せるもの多く危險刻々迫る

東京電報

▲清國事件費提出

政府は十二日衆議院へ四十四年度追加豫算として清國事件費八十七萬九十三圓を提出せり

▲鐵嶺領事の公報

鐵嶺の我領事館よりの公電によれば革命軍の監天尉は鐵嶺の我領事館に向け九日午後四時までに城內に在る日本人を立退かしめられたし然らずんば若し萬一損害あるも革軍は其責に任せずと通知し來れりと

▲各豫算の通過

四十五年度總督府豫算を始め各豫算は十三日の衆議院本會議に於て原案の通可決したり

雜報

●金融組合現在

四十四年度中に增設すべき金融組合三十六個所は既に全部開業し現在に於て百六十ヶ所營業しつゝあるが更に明年度に於て三十ヶ所增設の筈なるを以て合計百九十となり全道三百六十餘郡中百九十の組合を有する事となり約一ケ郡半に一個を見るも將來は是非一郡に一個は設立すべき計畫なりと而して目今の貸出高は約百三十萬圓にして或地方の如きは既に資本全部を放資するに至りしありと云ふ

●樹苗圃の增加

朝鮮に於ける官設苗圃は昨年春期頃は約六個所に過ぎざりしも昨今に至り俄かに百三十四個所に增加し尚民間の樹苗培養者は三百餘人を數ふるに至れりと云ふ

●各農銀貸預金

度支部調査に係る客年十二月中各道農工銀行に於ける金融狀況を聞くに總貸出八百五十萬九千四百五十三圓同預金四百十萬〇九十八圓なるが之れを各銀行別に列記せば左の如し

	預金	貸金
漢湖農銀	一、三九六、七六七	二、七七六、七三八
慶尙同	六五四、九六六	一、一六三、八四三
平安同	一、〇二六、六四二	一、九八八、六三九
全州同	二八七、八七四	七二六、〇〇三
光州同	三三六、四五三	六六二、三六三
咸鏡同	二六五、三九六	六七九、八六八
合計	四、一〇〇、〇九八	八、五〇九、四五三

●各銀行現在高 其有金

其の筋に於て調査に係る本年一月末日現在京城各種銀行に於ける手許在高を聞くに左の如し

朝鮮銀行	四百二萬三千七百五十四圓
普通銀行	四十四萬三千〇十五圓
漢湖農工銀行	三萬七千五百九十七圓
合計	四百五十萬四千三百六十三圓

以上の如くなるが之れを客年十二月末日現在のそれに比較せば六十七萬二千百八十圓の增加を示せりと

●豫算案全部通過

十二日午後四時四十分朝鮮總督府着電によれば同日衆議院豫算總會に於て總て分科會決定の通可決せりと

●內地に於ける鮮牛評

朝鮮牛の內地に移出するもの年々少なからざるが其使用の種類に關し調査したるものによれば耕牛としては一般に柔順强壯にして使役し易く耕運挽用として內地牛に異らず又肉用としては一年以上も飼養すれば可なるも然らざれば脂肪少なくして肉味甚だ不可に又養殖には乳量少なく產犢の發育遲しと云ふ

●土地調査測量豫定

四十五年度上半期土地調査三角測量の部署は第一第二乃至第七班に分ち第一班は補點子、小三角計算、臨時事務を分掌し班長監查官班員は目下詮衡配置中にして此他の各班の吏員皆之と同じく而して▲第二班は基線、水準、大三角、等角本點計算事務を擔し豫定地方は基線にありて靈岩襄陽二郡に亘り三月上旬より七月下旬を以て終了し水準にありては河東靈岩間、元山襄陽間は三月上旬より着手六月下旬に了り元山平壤間、元山咸興間は同五月下旬に完結し大三角本點にありては之を五方面に分割し(一)三月上旬より十一月下旬の間に於て平安南北道の西部、咸南の南部及び平南の東を測定し(二)三月中旬より十月下旬の豫定を以て江原道全部を結了し(三)三月上旬より十一月上旬迄の間に於て長南郡全羅南道諸州双良北部(四)全南の南部を終り(五)三月中旬より十月下旬の間に於て咸鏡南道の西部平安北道の北部及平安南道の北東部を完結の豫定なり

▲第三班第四班は大三角補點に從事し第三班は三月上旬より七月下旬迄に全羅南北道及び慶尙南道西部を實測し第四班は三月中旬より十一月下旬の期間に於て黃海道及平安北道を完了す▲第五第六第七の三班は共に小三角測量に當り內第五班は三月上旬より十一月下旬迄に慶尙北道、慶尙南道の西部、全羅北道を、第六班は京畿道北部、黃海道西部を、第七班は黃海道平安南道、平安北道の三道に亘り此の兩班は三月中旬より十一月下旬迄の間に於て何れも完結を告ぐべき豫定なりといふ

●定例長官會議

十三日午前十時より總督府に於て定例長官會議を開き倉富、石塚、池田、宇佐美、小松の各部局長官明石總長俵副總裁三木鐵道局長官代理列席政務の打合せを爲し同十二時散會したり

●京畿道府尹郡守會議

十三日開會京畿道廳管內府尹郡守會議內容は午前中道長官の一般事務取扱に關する指示を終り午後は小原地方局長齋藤山林課長向坂技師の講話ありて午後五時閉會せり

●侍從武官着發

奧村侍從武官には豫定の如く來る十六日午後南大門驛着大觀亭に投宿翌十七日朝當地發南鮮及北韓地方守備隊御慰問の途に就かるゝ筈なるが一行には來る二十三日朝御用船咸興丸にて釜山發北韓に向はる事に決したるが一行の慰問を終へて東京着は三月十日頃なるべしと

●上田軍司令官歸任期

去十一日群山、太田、東萊方面へ出張したる上田軍司令官には來る十五日夜龍山驛着歸任すべしと

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一 懸賞金壹百圓
右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。
一 文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。
一 當選論文の決定は本社爲鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。
一 應募締切期限は來る三月一日とす
一 當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。
一 當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事
一 應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。
附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

神藤代議士支那時局談

北京に向ふ途次當地に立寄りたる神奈川縣選出神藤代議士の支那時局談左の如し

▲清國事變の結末 如何との問題に對しては曰く不可解と稱するの外はない支那は元來朝三暮四の國で政治上其他に於ける變化の迅速なる實に捕捉すべからざるものあり這回の大動亂の如き研究すればする程一層革命其れ自身の因つて來るところが明かでない畢竟するに支那這次の革命は忌憚なくいへば一種の流行物たるに過ぎぬ革命に左袒すれば景氣がよい革命を口にせざれば肩身が狹いと云ふが如き流行熱に驅られて萬人が革命に走るのだ即ち清動亂は彼の佛國大革命、イスパニヤ革命其他歐大陸の革命とは大に其の趣きを異にし人民が▲不止得の結果として絕体的に發した革命ではないと思はれる如何となれば歐洲諸大陸の革命は其の佛蘭西なるゝ西班牙たるとに論なく悉く是れ人道及び人權上よりして止むを得ざる必要を感じて發したのであるが支那這回の動亂は大勢を觀て之れを窺知し得るが如く中段より烏呂迂呂出たものであるので何等根帶とする處がない又た支那に於ける▲共和政治 なるものは世人の稱するが如く既に〳〵堯舜禹湯時代に始まり今更らしく革命を起して迄も今日に於て之れを呼號する必要はない由來支那人は什うしても一方に金一方に武器を手にして之れを統御しなければ駄目な國民で常に空論を事とし表面上口にするところは實に傑いことのみであるが扨て一歩其の胸奧に立到れば寔に陋劣極まる種族であることは孔孟等が男女七歲にして席を同うせずとか長幼序ありとかと聲を勵して盛んに道德儀禮を說いたに顧みても如何に其の好色卑猥な國民たるかを推知し得るであらう蓋し其の種族の高潔なる國に於ては決して斯の如く道德儀禮の普及に腐心するの必要がないからである此等の點よりしても將來益々支那に▲動亂が頻出 することは察し得る乍併袁世凱たる者が官革兩軍にた世辭を振り撒き滿洲王及其の臣僚を籠絡し政戰の二權を掌握しナポレーオン一世の佛革命に於けるが如き權威を得たなら或は支那を料理し得ぬとも限らぬが彼れ世凱の膽力は如何?今日の支那を統一するにはナポレーオン一世以上の膽力ある者にして初めて之れを成し得るのである即ち支那革命の前途は不可解だと稱するの外はない云々。

●檜垣道長官等譴責

京畿道長官檜垣直右同道事務官有賀光豐兩氏は奧村千里なる前科者を寫字傭人に採用し剩さへ同人の爲めに地方費及恩賜授產費中より數回に涉り合計九百九十八圓四十錢を橫領費消せられたるは平素部下監督の不行屆の致す所なりとして二月十日附を以て譴責せられたり

●廣島市と朝鮮視察團

廣島市の實業家百五十名は朝鮮に於ける商工業視察のため朝鮮觀光團を組織すべき計畫あり依つて同地の有志手島某なるもの右視察地撰定の爲め不日入京の由なるが一行の來鮮期は多分四月上旬頃なるべしといふ

●取引所問題と總督

京城取引所創立委員等は豫て認可運動につき寺內總督を訪ひ不認可に就ての意見を叩き兼ねて委員等の所思を開陳する豫定なりしも其の後總督には病氣に罹りしため遲延今日にいたりたるが病氣全癒次第訪問する由なり

●轉任問題と委員會

京城居留民團にては豫て委員附托となりたる龍山小學校訓導轉任問題に就き十三日午後四時より同所樓上に於て委員會を開きたり

●商業會議所總會延期

京城商業會議所に於ては十二日臨時總會を開く筈なりしも議員の遲刻するもの及欠席者多くして遂に流會となり更らに來る十六日總會を開くべしと

●財務部長會議延期

來る廿日より開會の筈なりし全道財務部長會議は都合より三月七日より約四日間開會の事に延期せりと云ふ

●鮮人衣服染料趨勢

鮮人の衣服を染色すべき藥品の原料は專ら獨逸より輸入され昨今は大阪福喜洋行に依つて朝鮮に供給され年々增加の傾向を示しつゝあるが右染色の藥品は今を去る九年前頃は盛んに大阪の商人に依つて移出されたるが當時支那商人の勢力盛んなりしため之れが競爭に堪へず何れも廢止したるが現今にては支那商人を壓倒し總移輸入高の九分通りは前記福喜洋行の供給に係り居れりといふ尙右染色の藥品種は二十種にて其の內鮮人向としては黑、黃、紺、赤(ベンゾ、スカレツトの二種)の五種なるが唯獨逸よりの原料のみにては完全を缺くの嫌あり依つて大阪に於て原料に媒染料を混合して朝鮮に移出し居るが右は極めて鮮人の趣向に適ひ一ケ年の供給高三十二萬以上なりといふ而して同洋行にては從來朝鮮に於ける特約店を廢して昨年支店を京城に設け同時に媒染料混合の製造を京城に於てなすべく昨今工場を建設中なるが更に夫れと同時に洗濯及び洗ひ張り等に際して變色を防ぐため止藥を製造し京城、平壤、大邱大田、元山の如き都會に傳習所を設け右止藥使用の方法を傳授すべき計畫なりといふ因に鮮人は由來白衣は好まざるも唯今より五六十年前國喪打つゞきたる爲め習慣となりたるが元來は染色の衣服を歡迎し居れりといふ

●滿鮮潜水器漁業

慶尙南道統營に於ける潜水器漁業の狀況を聞くに前月末現在德島縣卅五臺、長崎縣廿六臺、佐賀縣一臺、福井縣一臺、鳥取縣一臺、山口縣二臺、岡山縣一臺合計六十臺(但し德島縣は瀨戶貝其他は海鼠鮑の採收)にして南海蛇梁、彌勒、芦臺欲知島を根據として出漁せしが本月に入りては德島縣山中芳太郞九臺を增加せり(同人は海鼠、鮑の採收とす)漁獲高は瀨戶貝、海鼠に於ては前月と大差なきも鮑は前月に比し頗る好況にして一臺一ケ月の漁獲百五十貫乃至二百貫內外に達せり而かも鮑は海鼠採收業者の副業に過ぎざるものとす鮑は頗る高價にして統營市場前月の價格は十貫六圓八十錢なりし所本月に入りては十圓內外を唱へ居れり潜水器本月中の漁獲總概算は瀨戶貝製品五萬六千八百七十五斤(一日一臺六十五斤宛とし一ケ月の出漁日數二十五日間とし三十五臺分の總漁獲高とす)海參二萬二千三百斤、鮑(生)四千三百五十貫とす價格は淸國動亂以來製造品輸出杜絕の大打擊を蒙り居れば前月報告の通りにして本月も同じく買手不振にして當業者は一般に困難を感じ居れり然るに實際の取引直段は前年と格別の大差なく海參は二十五圓瀨戶貝は十七八圓を保ち居りと云ふ

●半島鑛業振興上の意見(其七)

▲川鍋事務官談 朝鮮鑛業振興策に就ての懸賞論文募集は洵に結構な企である一は以て當局が鑛業施設上の參考ともなり他は以て朝鮮產業開發上の羅針盤ともなる併し同問題は却々重大な問題で種々な方面よりの研究を要する從つて問題を揭げられたところでオイソレと答ふる譯には行かぬが要するに朝鮮の鑛業を盛ならしめんとするには先づ外國及び內地より資本と技能とを輸入することが肝要である而して之れが鑛山の讓與及び抵當權の設定等を確實にして資金の流通を圖るやうに努むるが宜い資本及び技能の效果は雲山及び遂安金鑛の例に徵しても明である雲山金鑛の如きは一ヶ年三百萬圓の產金高があつて其の內利益は半分を占めて居る遂安金鑛の如きも一年百十萬圓からの產金高があるされば資金と技能とを以てドシ〳〵經營さへすれば產出高も利益も充分にあることは疑ひない況んや鑛物に富む朝鮮に於てをや而して之れが資金の流通は其の方法としては幾らもあるだらうが先づ鑛業資金を流通する爲めの銀行を設くるなどは機宜に適したことだらうと思ふ更に又鑛山探檢費を投じて鑛山の眞價を明にするの必要がある鑛山の眞價を明にさへすれば資金は自ら集つて來るものである夫れから又安岳の鐵山安州の炭鑛などは抵當權の設定をして資金を流通し昨今盛んに採掘して居るが如く成績が好い併し單に採掘のみでは不可である精鍊の技工も之れに伴はねばならぬ雲山遂安兩金鑛に於て行ひつゝある精鍊法の如きは最も進步したもので含有金は比較的排流せぬが其の他の個所に於けるものは何れも德大式で含有金の大部分は排流してしまう此の點は經營者自身にあつても大に研究すべきことであるが一は當局にあつても改良指導すべき責任がある而して一方朝鮮に於ける鑛物の如きは撰鑛精錬の方法の解らぬ爲めに原鑛のまゝ外國へ輸出して居るが此等はヤハリ產出地に於て撰鑛精錬し其の上で輸出するを得策とする加へて又鑛床の調査も大に必要である されば當局にては昨年より技師を各地に派して之れが調査に從事して居るが大体の調査にして完了しなば夫れを印刷に附して世に公表し以て鑛業經營者及び企業者の參考に資する積りである云々

●京城の辯護士總會

在京城辯護士は十三日夜總會を開催し諸般協議をなす

公人私人

▲福地信吉(工學士) 十二日投宿京城ホテル
▲佐々木敏綱(辯護士) 同
▲高田稔(新幕憲兵分隊長) 同 山本
▲稙野作次郞(辯護士) 同 浦尾
▲天野恭太郞(外務省官吏) 同 巴城
▲大津留吉(陸軍一等主計) 同
▲磐永與里(農學博士) 同
▲篠田賴太郞(東亞煙草大連支店長) 同出發安東縣

▲京城手形交換高

二月	金	枚數
十三日	二五七、六三八、七二〇	一六二四

▲茶袋▼

今出るそれ出ると、玄關の長きに至つて全く下手な手品を見る如であつた、淸國皇帝の退位も、今度といふ今度は愈々間違なひらしい、コウなつて見ると、愛新覺羅氏の末路實に一掬同情の淚なき能はずであるが今後に於ける支那舞臺の幕は何であらうか△言はずともイの一番、大統領問題、これは袁、孫兩者の妥協次第で案外早く發表せらるべし、次が首都問題北京か天津か南京か武昌か、局外者から見ても、首都問題は政治經濟企業交通の關係上極めて趣味がある、而かも支那人の爭ふ所は、南北の關係なり、勢力の追隨なり、自家自身の都合なり其撰擇も彼等の自由であるが、日本として何等の利害なきや否、これ一應の疑問である△それから軍隊の始末も亦難物である、我國でも維新後の兵隊、西南役後の兵隊共にこれ政治家の頭痛の因となつたものである、支那平和の後今の南北兩軍を如何に始末すべきや此點に付て方策一たび誤まらば、支那は再び動亂の巷と化するやも測られぬ△此外に外債問題や列國關係問題や、國際問題や支那の前途にとつては極めて重要なものが澤山あるから、支那の政治的舞臺はこれから先が見物である。

●述懐談　本日休載

宗匠訪問錄（七）
香茶生花拳三味線踊や唄の師匠巡り

義太夫　竹本梢梅丈

何か一生の珍談をとの御註文ですか……喋べり序ですから東京での色消話を一ツお話致しましよう其れは鮓の爲めに危なく一命を捨てるところでした、今思ひ出しても顏から火が出さうですよ日本橋の或る寄席が閉場て十二時過ぎに二人の弁間と歸路を急いで或る橋詰まで來ましたが空腹なつて堪らないものですから姫御前のあられもないすし屋に駈け込んで立食を始めたのです、オホ……あゝ可笑しい笑つちや厭やですよと御自分が笑ふ、ソレは隨分よく喰べましたのですよ馬も呆れる程だろうつてマアたロの惡いこと、程々の所で廢せばよいのに殘りの一ツつまんで口に入れるか入れないのに私の肩先を誰れかは知らずポンと叩いた人がありました喫驚して後ろへ回顧ふと思つた拍子にグウツ咽喉に充塞つて仰向け樣に倒れて了つたのです、サア大變梢梅が氣絶したと云ふんで水よ藥よの大騷ぎした揚句ヤツト正氣付いて惡戯者の顏を見ると其の頃司法省に奉職してゐた或る課長さんで大の義太夫通で毎夜の如に聽きに來て下さるた方でしたが暖簾の外に羽織の劍酸漿の紋が見ねて居たので一ツ驚ろかして遣ろうとの惡洒落だつたと判りました、怎麼極りの惡いことはありませんでした。ソレから東京を去りまして新潟に行つて十年餘りの長い間寄席に出て居まして又もや昔馴染の神戸に歸り三宮の富士館に出勤することとなりました一番骨の折れたことですか……左樣ですね二十歳の頃でしたが大坂道頓堀の竹橫席で彥六座の操り人形を興行する時二十四孝の狐火の段を大坂名物の彈き語りで遣れとの太夫元からの注文而かも明後日が初日と云ふので下稽古をする暇がなかつたのに閉口致しましたよでも性來の負嫌ひですから二日二夜三絃と根競べをしまして什麼やら首尾好く語り終せることはできましたがソレがため指を痛めて五十日程休業したことがありました。稽古を始めましてから此の年になるまで三十年餘りになるので語り物の數も四百段以上になりました、エー夫れは三十か四十段でも師匠をなさつてゐる方もありますよ五六年前迄は艶物をよく語りましたが近頃では時代物の方が語りよくなりました京城もなか／＼盛んで御座いますよ私の處では會員組織と云つた譯で梅鶯會と申して居ります、左樣ですね、先づ語るのが三年三絃が三年もかゝつたらチヨイと聽ける樣になるでしよう、義太夫の趣味ですつてソレは私なんかの口から申上げるより梅照さん（高橋章之助氏）からでもお聽き下さつた方が宜うムいますようですが聲を遣ひますと腹が大變空くものでその故か私は胃病になどは罹つたことがありません昨今お出でになる方は二十六人でお素人が多いのです藝妓衆は彼方に札が掛けてある通り道子、茶羅丸、駒助、泰之助、三春葉、三次、勝次、三大幸さんの八人だけです辨護士の大久保さんですか彼の方は可笑です巴城舘さんは一笑あゝ宜い氣になつて喋べりましたねガツカリして了ひましたと云つて煙管を取り上げた何時の間にかきく家の泰之助が爐の傍に坐つて頗る感じ入つた態である、モ一人ヒヨイと私の顏を見ると慌てゝ隣室に逃げ込んだ人があつた慥か仁川の大君？と云ふ家で見たことのある顏だつた（をはり）

●強請損ねて捉まる

▽金佛三体の賣買が種

御成町四十一番戸木村魁三方雇人金顯伯（三四）は昨年八月中頃處用あり江原道江州邑に赴き同邑の曹聖三方に立ち寄りたる際金佛三体の賣却周旋を依賴され歸京後此の事を知邊に話したるに是れを漏れ聞きたる南部水橋居酒商趙致雲は金を訪ひて金佛の仕末を五月蠅く問ひ質すより去る十一日既に百五十圓に賣却したりと僞はり追ひ歸せしに翌十二日自宅に誘ひ出し共謀者三名と共に金佛を賣却したるは刑法の罪人なり若し二十圓を出せば秘密の中に葬り去るべしと强迫し所持せる主人の金十圓を出さしめたるが金は其十圓は主人のものなれば返戾して呉れ今晚二十圓調達して屆けんと欺き歸宅後斯くと主人に告げ夜に入りて同行の上趙致雲外三名を捕ねて南部署に同行告訴したり

●水商組長を監禁

▽背に腹は代へられず

先頃京城水商組合規約改正の結果除名されたる組合員中生活難を訴ふる中部廠洞姜錫憲（二九）同承洞李材胄（年齡未詳）同下於義宮洞李義鎭（三六）同泥洞姜錫鎬（三四）同中谷金學李（三六）同塔洞李春寬（二五）同中谷金相鎬（三二）北部諫洞李炫傑（三七）の八名は十二日午前十一時頃中部寺洞三統一戶集在完方に集合し組合長韓相義を斯方に誘ひ出し一室に監禁したるを北部署にて探知し前記八名を引致し四名は笞刑百に四名は同五十宛に處せらる

●仁川一山ゑくぼの魂膽

▽失戀の結果鞍替せん

仁川一山樓のゑくぼ拍子は顏色の黑い所に味があるとて海岸邊の或男が血道を上げて居ると女の方も憎からず互に大熱々の逆せ方最早年期も眞近い内に明くさて指折數へて待て居た所好きちやんには廿日計り前國元から妻君が來たので假令手綱提げてもと思へども叶はぬ緣と諦めて一層花柳界で歸り花咲かせんものと今度は京城新町君の江に身の代千圓で鞍替の交渉中なりとか

●家根を破つて賊

十二日午前零時三十分頃部西龍山坊青坡三契三十九統一戶布木商韓元順方の屋根瓦を剝ぎタルキの間を一尺二寸平方位破壞して窃盜忍び入り棚に在りし金巾六疋價四十一圓四十錢外數點價格合計百二十餘の品を盜み去らる

●尹致昊男逮捕さる

▽重大事件に關聯して

男爵尹致昊氏は鐘路に在る基督教靑年會の副會長にして京畿道開城にも同人管理の下に基督教の學校ありて鮮人基督教徒間に於ける大立物なるが或る重大事件に關係せること發覺し去る十一日開城に於て逮捕せられ警務總監部へ押送せられたり

●龍山の賭場手入

大分縣人京城黃金町三百十番地今井良介方河野三郎（三〇）大阪人龍山老松町八十四番戸西村勝次郎（二〇）兵庫縣人龍山凱旋町増谷力松（二一）大阪人當時住所不定柿川松之介（二〇）の四名は十二日午前五時頃龍山凱旋町十番戸石垣榮太郎方にて賭博開帳中を曾根崎井上橋本の三巡査に踏み込まれ逮捕せられ龍山署へ引致せられたり

●一圓で藝者を揚る

新潟縣人當時本町三丁目伊藤組挽子佐藤久平（三九）は十二日午前一時頃大和新地福本樓に到り一圓だけ酒を飮ませろとてチビリ／＼甜めながら藝妓政子を酌に出させて居る中政子の馴染客が來たり女が挨拶に行きたるを立腹し政子の揚代六十錢を拂ふの拂はぬのと大騷ぎの末其筋の御厄介にまでなり這度だけは赦して貰ふ

●仁川警察で捕らる

京城東門外一統八戶鄭興順（四八）波州郡泉峴面基同里白南基（三六）水原郡吾亭面黃金里鄭相云（四五）の三名は十二日午後二時五十分仁川府內面金谷洞一統五戶飲食店河雲在方にて賭博中牛角洞派出所の巡査に取押へられ本署に引致取調の上笞三十宛に處せらる

藝妓の性相と運命（一）

天象子觀識

目下京城ホテル別舘（翡翠樓前）に於て一般運命鑑定中なる天象子に忙中の閑を割いて標題の如な事を囑して快諾を得た、何しろ忙がしい中での鑑定執筆だから每日と云ふ譯には行くまいが兎に角讀物として當人の心得として面白い事と思ふ。（一記者）

翡翠樓輝子

是れから時々本紙に藝妓諸君の性相運命を書くことにするが併し寫眞に現はれてるだけを觀るので直接ではないから無論大体に過ぎない其の積りで見て貰いたい。偖てお前さんの形質は心性質と云ふので職業が藝妓か女優か其の他音樂美術に類した事だが乃ち藝妓であるから此形質に適つてることになるキツと高尚な事で素養があれば女詩人女文士なども面白い頗ぶる多感多情でできかぬ氣のお俠の質だから憐れつぽい話を聞いたりすると無いものでも工夫して恵んでやりたくなる同時に又男にも苦勞があり是れからもする筈札ビラなぞには余んまり迷ふ方ではないが、意地づくなら隨分貧乏書生にでも惚れ拔てトコトンまでやつて見ようと云ふ質、藝妓をする位だから云ふまでもなく初年の二十歳まで多少の波瀾はあつたに違ひない中年に入つた今歲から二十七八歲までは兎角苦勞が增すだらう一二年中に嫁づくことがあつても其れでは納らない離緣になるか一層苦勞の種を蒔く位なもの、併し二十九歲頃から何方に轉んでも次第に吉くなる亭主も割合に立派なのが持てるが四十五歲から注意しないと稍や寂しい境遇に入らねばならぬ素人なら小供は二三人はある筈だが商買人になると生理狀態に變化が來るから其れは變ることになる現在も將來も金には餘り緣が無いから金の爲めには焦心ぬがよろしい、一旗揚げて見ようなんど大きな料理屋の女將などになるのは間違ひ一時は調子が好くても乾度失敗に終る亭主を撰ぶなら學者か紳士か但しは俠客、其の俠客の姉御で傍ら待合の女將兼任も異だらうさ。

●八角時計を盜む

仁川府內面沓洞白孫（三七）は去六日仁川海岸碇泊中の中村みち所有倒平船開運丸に於て八角時計一個其他雜品を窃取したる事發覺し宮町派出所杉田巡査が取押へ本署に引致取調の上十三日檢事局へ送らる

●膝掛を盜で馳出

本町九丁目峯岸商店雇人金桂煥（三〇）は十二日午後七時半頃櫻井町人力車駐車場の挽子金允植の膝掛一枚を窃取し逃走せんとする處を捕はられ其筋に突き出さる

●演藝だより

▲歌舞伎座　浪花節芝居市川小圓次一行十四日の代狂言は『東土產松竹梅』

▲浪花舘　十五日を以て打揚げの豫定なりし三遊亭圓若一行は御禮として十四日より四日間日延べし入場料を十五錢均一に改めたりと

清元　柳巷だより

▲今も昔もかはら町、よきこと翡翠の名代娘、茶の花の振袖に『隨分だわ』といつの程にか聲がはりのしたた染は、わが手枕に梅が香のまだ床なれぬ鶯の初心と見たは飛んだ慮外、あれまたあんな無理いふてなど、昨今一段口舌振りを上げたと見たはひが目か、戀といふ字といふたのを結び始めの殿御の金指輪が、それ／＼右の指にピカリ▲春の寒さに降雨も暮れていつしか雪となるけふ此頃を花家の小蝶は、入谷ならぬ高田屋の一間に出養生とは近頃古風な話だが、雪をよすがに本町邊の直次郎が、目覺わの門の扉を訪づれて、二人差合の珍鴨ではあるまいかと或人が心配を『左樣たてふの三千歲なら梅幸から釣錢がくる但ハツポな處だけ……』▲世事で丸めて浮氣でこねて富士見町から流れて來た新江戶家の二三龍は彼奴にうつかり眉毛をよまれてからと云ふものは朝霧の中の一錢蒸氣の笛みたいにポーツと成つてしまつたが、主は鯰のどり所ぬらりくらりと浮れて居るので、惚れすぎる程愚痴な氣に心の底の知れかねて自分たいではないかいなど、掌を蚊にさゝれた樣に昨今無暗におれている一件は、彼の浪花舘のデモ鹿若遊三が此頃ほかに浮氣の水をむけて居るので斯くの仕合せとは繪にも描ねエ。

●電車と動植物園

▽馬鹿に不廉い電車賃

朝鮮に居る日本內地人は全体に朝鮮人を貧弱な者とし自分よりは劣等の者として扱つて居る、此事實は何人と雖も否定する事は出來ないと同時に又實際貧弱なるに相違ないのだ、然るに其の貧弱な朝鮮人を重なる得意とする電車の賃率は何うか、日本內地人に取つても不廉い賃金を彼等からも取つて居るのだ、而して誰も此を怪まぬとは奇怪であるまいか、鐵道の方も左樣である、世には公平な不公平と云ふものが有ることを知つて貰ひたい。京城の電車は何うして斯樣な不廉い賃金を取らねば立ち行かぬか、燃料が不廉いからか使用人が不廉いからか、決して左樣ではない乘客が尠いからだ、乘客が少いのは即賃金が不廉いからだ、今の三錢の所を一錢五厘にせよ乘客が今に五倍する事は請合だ、電力の增費、車臺の修造費を差引いても現在よりは收益が多からう、夫れから尤も焦眉の急なるものは往復初符を出すことだ南大門から動植物園へ行つて戾つて十八錢は不廉からう、小供の三人も伴れて行くと七十二錢を費消し入場料十四錢〆金八十六錢を要する、米も牛肉も野菜も乃至卵も當時よりは不廉い東京で繼うか電車賃十六錢入場料四十錢として五十六錢此差金三十錢以てモリ蕎麥の二つ宛を喫ふて猶且六錢を剩すのに比較せよ、若夫れ龍山よりせば往復賃金一人三十錢を要すゞ値下の必要があるであらう、動物園の池の氷も解けて鵞や鴨やが浮んで居る、虎や豹や獅子や旹日當り善き所に脚を投出して快さそうだ、熊は掃除ヨボの入檻したるに巫山戲て檻を攀ぢて窓に腰掛けてホツと一息吐いたる態可愛らしいものなり、百鳥嬉々として君が代の泰平を唱歌して居る、僕の幼兒は急に尿が出ると云ふ生憎査公が巡つて見ねた身を捨てゝこそ浮む瀨もあれの格で査公に便所の所在を尋ねる、と査公其所の芝地を見廻して『お小さい子のなら其邊に澤山ムいます』と緩急宜しきを得たる指示振り、長官平素の敎練さこそと偲ばる、併し便所は增設する必要があると思ふ、序に記して御注意申上げる、急に用が出來たので能く見ずに出た（終）

●諸公債株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店

にせ物御注意 胃病でうん、飲みすぎ食ひすぎには ゐかいいさん
猪飼胃散
定價 十五戔 廿五戔 五十戔 一円
本舗 大阪江戸堀 猪飼史郎 振替大阪七七八
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番・一〇六八 振替口座 京城 十六番

綿、呉服界御通信
◉呉服部御紹介
大島式御召新荷着 本場秩父夜具地類品揃 柄行並に品質の撰定は弊店の特色 御誂瀟洒調進致します
◉綿部御紹介
カード式製綿 吹留、袋眞綿 全部品揃 満る月缺くるの例に洩れず一時高價の綿類も安價となりました
◉地方部御紹介
御注文品は御來店と同樣御安心遊ばす樣丁寧迅速に御郵送申上ます
京城明治町二丁目 △唐川呉服店 電話二六一番

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷付に御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園 電話四五〇番

弦齋流割烹 す津祢 南山町一丁目 電話千五百二番

職業
需要擴大ゴム製空氣枕及實用品風船其他玩具品の製造本業は遠近を問はず男女老幼共容易に薄資自宅に於て從事し日收一圓内外本品は輸出内地共需要擴大故に年中無休製品は永年買入約す
明細書見本甲種廿五錢乙種八錢郵券送れ
大坂市北區梅田驛前(金龍館向) 高橋商店 直輸部

齒科診療
京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 教具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
◉新案韓語栞 發賣所◉ ◉國語指南◉
朝鮮京城本町三丁目 平田商店 教育品部 用達部
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

舶來アイボリー石鹸
舶來アイボリー石鹸を被下といふ人にへいと差出す偽物澤山あり御用心〳〵
舶來アイボリー石鹸は包紙に斜にアイボリー石鹸の日本文字あり是なきものは偽物なり御用心〳〵

天下一品 白鶴
灘清酒相場非常ノ昇騰致候爲無止二月一日ヨリ大樽一挺ニ付キ 金壹圓也 直揚ケ仕候 不相變御愛顧奉願上候 敬具
四十五年一月
嘉納合名會社 御影、大坂、大連、安東縣

◉京都農園……種苗目錄……贈呈 京都嵯峨局區内 京鐵線花園驛南◉

資本金 壹千萬圓 積立金 六百參拾五萬圓 明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店 京城南山町三丁目
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
電話 一一番 六一二番 振替貯金口座京城一一番

新荷着 厚物 薄物 浪板 平板 鐵板各種 各種垣用線
和洋金物商 京城本町二丁目 佐野彦藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

齒科治療 本町六丁目(敷そば横町) ドクトル 中村安子 女子見習募集委細面談 (電話一五八三)

高橋博士證明 新藥 健腦丸(けんのうぐわん) 腦病
如何に重き腦病も必ず治る
主治 腦充血◉頭痛◉神經衰弱◉神經痛◉眩暈◉腦膜炎◉耳鳴◉精神鬱憂◉腦貧血◉健忘◉逆上症◉中風◉卒中◉大便秘結◉癲癇等
定價 三日分廿錢 一週四十五錢 二週八十五錢 五週貳圓
發賣本舗 大阪、東京 丹平商會藥房

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 參番 參拾參番 壹貳六〇番 六壹貳番 壹貳六壹番
支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

試驗濟 消毒牛乳
牧場直轄 京城永樂町二丁目 京龍牛乳販賣所 電話一七一〇 一九八八番

優等清酒
釀造販賣元 仁川港 吉金酒店 (電話七六四番)

◉夜間診察は九時迄とす
◉肺結核及結核性疾患の最新注射は實費診療す
△六〇六號注射需に應す
仁川病院 電話十六番

株式會社十八銀行支店
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候 京城黃金町(銅峴) 電話四二〇番九八〇番
○本店 長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◉貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

●母國よりも安い●
携帯電燈 大一圓二十錢 中壹圓 小七十錢
懷中電燈 大九十錢 小七十錢
地方には即時小包發送
各種眼鏡金時計 一時品式 貴金屬 電燈
販賣 京城本町一丁目郵便局前 金化堂時計舖 電話一三一八番
●大々的の勉強●

電話 擔保貸金 月賦賣渡 明治町一丁月 電話一八四四 口入業 萬年社

◉誠ハ弊店ノ主義也

登録商標 誠
釀造元 仁川山根町二丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號(フ)

最上醬油 高
釀造元 仁川港萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

弊館には夜警の設備有り
仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一
朝鮮陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水産組合指定旅館 各保險會社指定旅館
好の事きもの 第一なり 御客樣の安全此の上なし

株式會社百三十銀行京城支店 電話百九十四番・五十八番 振替貯金朝鮮一一三番 電話略號(ク)
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山
東山道 彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田
北陸道 能代、土崎、青森、仙臺、北方、加納、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柳、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、徳山、萩、長府
南海道 小月、下之關、明石、津山、阿知須、和歌山、巴邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豊濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、徳島、撫養、郡中
西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉、公州、水原、全州
清國 安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

恩給
年金低利長期契約即時立替手數料一割今般右營業開始仕候 大門外神戸屋ノ分モ全部繼承致迅速且懇切ニ取扱可申候
京城櫻井町八四 山口屋

高島易斷 旭町二丁目御嶽教大神宮 山の内

入院隨意 中島醫院 京城響町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

二月中瀛船出帆廣告
三省丸 舊島行 二月 日前 時
天草丸 海州行 二月十五日後一時
成歡丸 中串行 二月十三日前十一時
海利丸 海州行 二月 日前九時
三富丸 大湖芝行 二月十六日前八時
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町四丁目 電話一一七三番
仁川本町一丁目 電話七五〇番
仁川本町海岸通 秋田商會船舶荷捌部 電話四一九番
荷客取扱所 仁川本町四丁目 柴田回漕店
山本回漕店 電話五二二番